

空に独りごと

小林守城

他人の哀しみに涙することが

さいきんとみに多くなつた

花を見ても

雲の形や 風の音にも

だが わたしの悲しみには

泣くことは拒んでいるわたし

いや 泣くほどの哀しみを

見つけられない自分であつた

悔しさに涙は出ない

憤りは渦巻いて 涙を結ばない

いつになったら自分と仲直り

できるのであろうか

空ゆく雲よ 風よ